

9月定例会

— 議案審議の状況 —

平成24年第3回定例会は、8月29日から28日間の会期で開かれました。定住自立圏形成協定の締結についてを初め、議案25件(議員提出議案3件含む)、認定9件、報告3件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

定住自立圏形成協定の締結について (議案第54号~61号)

(野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東北町・六ヶ所村・おいらせ町・小坂町)

定住自立圏構想の関係町村との間において、定住自立圏を形成することに関して必要な事項を定めるためのもの。

主な質疑

Q 六ヶ所村には核燃料再処理工場があるが、災害等に対する防災連携はどうなっているか。

A 具体的には明記していませんが、大規模災害時も含めた相互応援体制を含め、圏域間で連携し、防災計画を共有していくこととしています。

平成24年度十和田市一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ5億8,524万8,000円を追加し、それぞれの総額は294億4,757万円となる。歳出の主な事業は、交通安全施設整備事業、除雪作業効率化対策事業、災害対策事業(可搬式非常用発電機購入)、北里大学~中心市街地循環バス事業など。

主な質疑

Q 災害対策事業で購入する発電機について、緊急時に確実に使用できるようにするための方策は。

A 緊急時に使用できる状態を維持するために定期点検は欠かせません。市でも定期点検をしますが、学校行事や地域の行事で利用を図ることで点検にもつながると考えています。

Q 除雪作業効率化対策事業のうち、生活道路除雪パートナーシップ事業の内容は。

A 重機不足を補うため、農村部においてトラクター等で生活道路の除雪に取り組む活動に交付金を支給するものです。

財産の取得について

三本木小学校、東小学校、藤坂小学校、法奥小学校のコンピュータ教室用パソコン計140台と周辺関連機器等を購入するためのもの。

主な質疑

Q 今後の購入計画は。

A 今回購入するほかに、12校で250台必要な状況です。平成25年度と平成26年度で対応したいと考えています。

その他可決した主な議案

- ◇平成23年度各会計決算
- ◇防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正
- ◇市民文化センター条例の一部改正
- ◇郷土館条例の一部改正
- ◇一般会計補正予算(第3号) など



第3回定例会議場から